

## 叡智を結集してがんの克服に挑む！

診療科の枠組みを超えて、がんの集学的治療をめざしています。個々のがん患者さんに対して、複数の診療科の医師が一堂に会し、さらにはがん専門看護師、緩和ケアチーム、がん診療支援チームも加わって、最も適切な治療を検討し実施します。また臨床試験にも積極的に取り組み、京都から新しいがん治療を発信していきます。

### 体制

京大病院がんセンターは外来がん診療部、入院がん診療部、がん診療支援部（緩和ケア、がん相談）、がん医療開発部、がん教育研修部の5部門からなり、治療方針決定から治療後の社会復帰、終末期医療の支援までトータルなケアを提供します。同時にがん医療専門職の教育養成、新しいがん医療開発を行います。

### 対象疾患

前立腺がん、脳腫瘍、乳がん、食道がん、肺、中皮腫がん、膵臓がん、頭頸部がん、胃がん、大腸がんの9ユニットに加えて、肝がん、胆道がん、婦人科領域がん、腎がん、血液腫瘍、小児腫瘍、骨軟部腫瘍など、すべてに対応しています。

### 診療、研究実績

#### 一般的な診療についての実績

- ①がん外来ユニットでは、臓器がん別に、内科系、外科系、放射線治療科、薬物療法専門家による診療ユニットを編成し、新患者さんに対して最適な治療方針を決定します。
- ②入院がん診療部では、複数の診療科が一緒になって集学的がん治療を行います。
- ③がん診療支援部では、患者さんの緩和ケア（痛みへの対応など）や精神的ケアを支援します。
- ④同時に京大病院の全診療科が協力して、他の病気や合併症をもつ患者さんの治療、薬物の副作用に対する対応などを行っています。

